

報道各位

新潟市 建築部 公共建築課

新潟市 建築部 建築保全課

【液状化被害住宅復旧促進加算】

液状化等被害住宅修繕支援事業および建替・購入支援事業を拡充します。

令和6年能登半島地震による液状化等の影響で住宅が傾く被害が多く発生しています。その修繕には多額の費用がかかり、住宅再建の支障となっているほか、そのまま住み続けると健康障害にもつながりかねないことから、現行の制度を拡充し、液状化被害住宅の復旧を促進するための加算を行います。

【液状化等被害住宅修繕支援事業】

現行の支援に加え、住宅の傾斜を修繕する費用を半壊以上の被害を受けた住宅を対象に、液状化被害住宅復旧促進加算として50万円を上限に支援します。

○支援の上限額

区分	罹災証明書の 住家の被害	現行の支援額 (上限額)	加算(上限額)
修理	全壊	100万円	50万円
	大規模半壊	100万円	50万円
	中規模半壊	50万円	50万円
	半壊	50万円	50万円

【液状化等被害住宅建替・購入支援事業】

現行の支援に加え、住宅沈下防止費用を現地建替で中規模半壊以上の被害を受けた住宅を対象に、液状化被害住宅復旧促進加算として50万円を上限に支援します。

○支援の上限額

区分	罹災証明書の 住家の被害	現行の支援額 (上限額)	加算(上限額)
現地建替	全壊	100万円	50万円
	大規模半壊	100万円	50万円
	中規模半壊	50万円	50万円

※詳細が決まり次第、今後作成するリーフレットや市ホームページで公表します。

問い合わせ先(報道関係)**【修理】**

新潟市建築部公共建築課

担当：上村・田中

電話：025-226-2886

【建替】

新潟市建築部建築保全課

担当：岸本・諸橋

電話：025-226-2861

住宅被害に係る主な支援一覧（半壊以上）

令和6年2月13日
公共建築課/建築保全課

修理の場合

(単位：万円)

被害程度	国・県	市独自		小計	生活再建支援金 (複数世帯の場合)		合計
	住家	住家・外構	復旧促進加算		国	県・市	
全壊	170.6	100	50	320.6	200	100	620.6
大規模半壊	170.6	100	50	320.6	150	50	520.6
中規模半壊	120.6	50	50	220.6	50	50	320.6
半壊	120.6	50	↑ 50	220.6	-	↑ 50	270.6

拡充部分

支払い1か月を3週間程度に短縮

建替（現地）の場合

(単位：万円)

被害程度	国・県	市独自		小計	生活再建支援金 (複数世帯の場合)		合計
	住家	住家・外構	復旧促進加算		国	県・市	
全壊	-	100	50	150	300	100	550
大規模半壊	-	100	50	150	250	50	450
中規模半壊	-	50	50	100	100	50	250
半壊	-	-	↑ -	0	-	↑ 50	50

拡充部分

支払い1か月を3週間程度に短縮

報道各位

新潟市 環境部 循環社会推進課
廃棄物対策課**被災家屋等の解体・撤去制度を実施します。**

令和6年能登半島地震により被災した家屋等について、生活環境保全上の支障除去及び二次災害の防止を図るため、所有者の申請に基づき、本市が所有者に代わって解体・撤去を行います。

【対象】

り災証明書などで「全壊」・「大規模半壊」・「中規模半壊」・「半壊」と判定された家屋等（住宅、賃貸マンション・アパート、事務所、店舗、農舎など）の**全部解体**。

※被災家屋等の一部のみの解体や附属工作物のみの解体は対象外です。

※基礎は解体対象ですが、地下階や杭、隣地等に影響するおそれのある場合などは対象外となります。また、整地は行いません。

【申請者】

被災家屋等の所有者（個人、中小企業者、農家など）

【費用負担】

- ・全額公費により行います。
- ・自費で被災家屋等を解体・撤去した場合の費用償還も併せて行います。
（※ 上限額により、要した費用の全額が償還されるとは限りません。）

【相談窓口】

- ・被災相談窓口 令和6年2月19日～

西総合スポーツセンター	西区五十嵐1の町 6368-48
黒埼地区総合体育館	西区金巻 746-1

- ・循環社会推進課 市役所本館2階 TEL025-226-1391

【申請受付】

- ・申請は事前に電話での予約が必要となります。予約受付 2/19～ 廃棄物対策課
- ・申請窓口 令和6年2月26日～

西総合スポーツセンター	西区五十嵐1の町 6368-48
新田清掃センター	西区笠木 3644-1
市役所本館2階	廃棄物対策課 TEL025-226-1411

- 詳細は、後日、市ホームページやリーフレットで公表します。

問い合わせ先（報道関係）

新潟市環境部循環社会推進課 担当:堀内・藤田
電話:025-226-1384
廃棄物対策課 担当:佐藤・清水
電話:025-226-1400

令和6年能登半島地震に関する災害対応概要（速報値）

令和6年2月13日（火）8時00分現在
新潟市災害対策本部事務局

1 被害状況

(1) 人的被害

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重傷者	0	0	0	0	0	0	1	0	1
軽傷者	0	4	5	2	0	3	6	1	21

※石川県へ帰省中に罹災した死者1名（被害者数については、石川県で掲載）

(2) 建物被害

①建物被害状況

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
全壊	0	0	6	1	1	1	77	1	87
半壊	2	2	160	114	5	12	1,941	26	2,262
一部損壊	94	173	992	705	287	290	6,715	470	9,726

※損害判定基準（住家の主要な構成要素の経済的被害の住家全体に占める損害割合）

- ・全壊 50%以上
- ・半壊 20%以上50%未満
- ・一部損壊 全壊及び半壊に至らないもの

②応急危険度判定【終了しました】

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
申請	5	7	140	81	24	13	1,437	37	1,744
うち 実施済み	5	7	140	81	24	13	1,437	37	1,744

※危険度判定結果：赤（危険）：172 黄（要注意）：769 緑（調査済み）：803

③罹災証明

ア. 罹災証明申請件数

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
申請	117	217	1,616	975	390	441	8,277	560	12,593

イ. 被害認定調査の実施状況

実施済棟数	100	195	1,315	862	307	327	10,548	506	14,160	
内訳	全壊	0	0	6	1	1	1	77	1	87
	大規模半壊	1	1	55	23	1	0	535	5	621
	中規模半壊	1	1	13	6	2	2	37	7	69
	半壊	0	0	92	85	2	10	1,369	14	1,572
	準半壊	27	41	231	296	122	111	1,786	229	2,843
	一部損壊	67	132	761	409	165	179	4,929	241	6,883
	被害確認できず	4	20	157	42	14	24	1,815	9	2,085

※被害の多い地域については、罹災証明の申請がない建物についても調査を行っている場合があるため、実施済棟数が申請件数を上回ります。

ウ. 罹災証明交付件数

交付	54	57	242	247	53	103	3,038	164	3,958
----	----	----	-----	-----	----	-----	-------	-----	-------

(3) 道路被害路線数

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
国県道	0	0	3	1	0	0	1	0	5
市道	0	0	77	21	0	6	211	1	316

(4) 学校被害

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
被害	13	14	23	10	12	10	26	15	123

2 避難の状況

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
開設 避難所	0	0	0	0	0	0	2	0	2
避難者 (人)	0	0	0	0	0	0	16	0	16

3 液状化による泥処理について

(1) 土嚢袋配布状況

	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	計
枚数	0	0	7,611	5,685	132	337	321,685	33	335,483

(2) 土嚢袋配布場所

中央区総務課

江南区地域総務課

秋葉区区民生活課

南区建設課

西区役所、黒埼出張所、西出張所、中野小屋連絡所

4 水道

(1) 断水

市内の断水はほぼ解消

※配水管(水道本管)の漏水修理が完了

(2) 応急給水場所

西区役所、黒埼北部公民館

5 下水道

- ・管路約 69km の一次調査（マンホール内目視調査）が完了
- ・一次調査結果に基づく被害状況の確認を行い、約 32 km を対象として実施していた二次調査（管きょ内 TV カメラ調査等）について、現地調査が完了
- ・管きょとマンホールの二次調査記録データをもとに、被害判定作業を実施中（管きょ判定進捗率：81%）

6 ボランティア

- ・1月3日 西区社会福祉協議会が災害ボランティアセンター設置
- ・活動人数 1,694 人、活動件数 273 件（主に土砂の撤去、家財などの運び出し）
- ・2月8日以降、週末（土日）のみの活動へ移行
2月8日～16日：ボランティア活動は休止
2月17日、18日：ボランティア活動予定